



Nagai Rotary Club

長井ロータリークラブ



Weekly report

長井ロータリークラブ会長	尾形 和夫	第2800地区ガバナー	新関 彌一郎
長井ロータリークラブ幹事	遠藤 伴明	第6ブロックガバナー補佐	横澤 寿彦
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル Tel.0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 Tel.0238-83-2047	会報委員	長澤修司・齋藤圭央・小野浩二

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: [info@nagai-rc.jp](mailto:info@nagai-rc.jp)

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成26年4月8日(火曜日) 第2,563回 ゲスト卓話  
 【月間テーマ】 ロータリー雑誌月刊 <例会報告 NO.36> 山形県議会 平 弘造 議員

## ☆会長挨拶(尾形 和夫)



皆さん、こんにちは

今日は、社長として「リーダーに最も大切なもの」についてお話しします。

私は、リーダー像の中で「リーダーにとって一番大切なことは、ものを決めることだ」ということで決断こそ、リーダーの主要な仕事であると思っています。リーダーに就いてみるとその通りで、決断することの厳しさがよく分かります。

自分の中ではどうすべきかがよく分からないケースもありますが、限界まで必死になって考え詰めたうえで決断します。

そして、決断したらメンバーに分かりやすく伝えなければなりません。私は「頑張って目標を達成しよう」というメッセージを、受け手の心を揺さぶる物語につくり上げ、ドラマチックに話して、メンバーをリードしています。難しいことですが、私は、一つはそんなポジティブな、リーダーのイメージを抱えています。

しかし片方で、大声は上げず、指示命令もしない、片隅で自分の仕事を淡々とこなしている「何もしないリーダー像」もイ

メージしております。

それでも各メンバーは自分の目標を達成し、課題を解決していきます。

夢のような話かも知れませんが誰もヒーローでなく、絶えず変化、成長し、それでいて協力体制は整い、共同作業のマナーも身に付いています。

私は、そんなリーダーとメンバーの関係を夢見ています。

しかし、こんなリーダー像が成り立つためには前提条件があります。

一つは、チーム一人ひとりが「目指す方向はこちらだ」と納得し、共有していることです。さらに、メンバー一人ひとりが、一人前のプロとして技と、役割意識を持っていることです。黙っていても、自分の果たすべき仕事をやり遂げていく実力と、力を合わせるやり方を知り、そして、常に全体のことを意識していることです。私は、そんなリーダーになりたいと夢のように思っております。

今日は、山形県議会議員の平弘造様をお迎えしての卓話を予定しておりますので、宜しくお願いします。以上で、会長挨拶といたします。

## ☆委員会報告

ガバナー月信4月号の7ページ下に、『クラブ主催避難者支援事業報告』として、11月・3月に行われました市内避難者とクラブ会員との交流親睦事業『フォーラム例会』の記事が掲載されております。

## ☆幹事報告



・来週火曜日の 11 時 30 分より今年度の理事会を開催いたしますので、理事の方はお集まりください。

## ☆ゲスト卓話

### 山形県議会 平 弘造 議員



今日は角度を変えて現状の中で意識の持ち方が難しくなってきました。なぜそのような持ち方をしなければいけなくなったのかをお話したいと思います。

最後に、県の今の件の状況をお話しさせていただきたい。

一番大きな原因は、国会の中で何が公平なのかという視点ではないか。

ひとつは、人口の比例で国会議員を決めていくということ。有権者数が 2 倍を超えると違反。そうすると、国会議員の数が、東北全体よりも、東京都の方が多くなってしまふ。政策は、都市部の政策が中心になってしまふ。

どの政党が与党になっても、都市部の政策が中心になって地方の意見が届かなくなる。

もうひとつは、地方紙と 4 大誌といわれる中央紙との記事の内容が同じようになってしまっている。

中央紙は、どういう考え方の人が多いのかを考えて作成するため、人口に比例した記事になってしまふ。

しかし、地方紙は地方の現状を反映しなければならぬと思う。ネタ元が時事通信などからもってきているため、地方紙からの情報の発信ができていない。

公共事業などの考え方に大きな違いがある。予算の中で、地方では、公共事業が支えていくのかということです。

都市部は、補償費等で実質的な工事費が 15% しかない。だからあまり経済対策にならないというのが一般的な考え方。

しかし、地方部ではその真水部分が 7, 8 割になる。公共事業は地方の経済を支えている。考え方が住んでいる地域で大きく違ってくる。

ゴール地点は一緒なので、統一の目標を示すことが、これからの政治家の仕事ではないか。

現状の話をしてします。毎年、飯豊町一つ分の人口が減ってきている。加速的に人口が減ってきている。

現状の中で切り詰めることと、活力にかえることを見極めなければならない。

長井市議会のなかでも、好きか嫌いという中でやってきていますが、議員も自分の意見を通すのであればしっかりと調査をして何のために議員をしているのかを考えてもらいたい。

栗子トンネルが開通しました。平成 29 年には間違いなく米沢・福島間が開通します。税金を使った直轄の道路ですので、米沢・福島間の道路は無料で走れます。有料道路ではありません。

高規格道路が小国が格上げになりました。梨郷から長井までの道路の予算もいま作成しています。日本海側の県境部分の道路の予算がついています。

鶴岡から福島まで無料の道路が出来上がります。

長井南バイパスは完成の時間が少し伸びる予定。用地買収等で問題が発生したので・・・。

道路の作成はもろ刃の刃になる。道路を作ると辺鄙のところから中心部に人口が移ってしまう。

農家の所得を道路とどう結びつけるかが重要になってきている。

## ☆今後の例会予定

4 月

15 日 会員卓話

広報・IC0 委員会 栗田 正彦 委員長

22 日 振替休会

23 日 (水) 長井中央 RC 合同観桜会  
はぎ苑新館 PM6 : 15

29 日 休日により休会

<早退届>

・瀬尾 雅広 会員

<ニコニコ BOX>

・尾形 和夫 会長

ゲストを歓迎して

・遠藤 伴明 幹事

ゲストを歓迎して

・瀬尾 雅広 会員

平県議を歓迎して

・菅 滋徳 会員

県議を歓迎して

・高橋 勇喜知 会員

県議を歓迎して

・伊藤 克也 会員

ゲストを歓迎して

ゲスト様も会員のみんなも健康には十分留意してください

・齋藤 喜内 会員

ゲストを歓迎して

・塚田 弘一 会員

平県議の益々のご活躍を祈念して